第19回 百歳クラブ「名豊会」 ～尊敬と感謝の集い2026～

Housenka Community Club since 2001.1.1
HCC TIMES
豊泉家 Assisted Living Homes & Communities
Vol.281 2026 11



9月21日（月・祝）敬老の日、アシステッドリビングホーム豊泉家 桃山台4階ゴールデンルームにて、第19回となる「百歳クラブ『名豊会』～尊敬と感謝の集い2026～」を開催いたしました。

「人生は百歳まで成長し続ける」という理念のもと、数え年100歳以上の名誉会員様で構成される「百歳クラブ」は、2008年に発会。皆様のご長寿と健康を称え、またシニア世代の道標となることを願って、今年も開催することができました。

本年も、ご家族やご来賓の皆様をお招きし、メイン会場となる豊泉家 桃山台を含む3会場をオンラインでつなぐと共に、YouTubeによる生配信も実施し、ハイブリッド形式にて開催。51名の名誉会員様のうち、28名の方にご出席いただきました。

開会にあたり、豊泉家グループ代表 田中 成和会長より、100歳を迎えられた皆様への尊敬と感謝の言葉が述べられました。

続いて、株式会社りそな銀行 堂島支店 支店長 溝口 暁様より、温かい祝辞をいただきました。

名誉会員の皆様には感謝状、フォトフレーム、記念品に加え、本年はチャレンジドコミュニティのご利用者より、名誉会員様お一人おひとりを模した手作りのフェルト人形を贈呈いたしました。



また、豊泉家グループCEO（Chief Entertainment Officer）四代目桂 春團治師匠からは、名誉会員代表 木村 充様へ100歳にちなんだ100本のバラの花束贈呈も行われ、心温まるひとときとなりました。

謝辞では、名誉会員代表 村山 まさ様より、「今ここに集まった皆様を含め、今後100名を超え、にぎやかな会になるようお願いしたい。そのためにも健康な身体で、安らかな毎日をお元気に暮らしていただきたい。来年も皆様とお会いできることを愉しみにしています。」という、未来への想いと芯を感じられるスピーチを頂戴いたしました。

閉会の挨拶では、一般財団法人SF豊泉家 樋口 昌克理事長より、名誉会員様に加え、ここまで歩みを共にされ支えてこられたご家族の皆様への深い感謝と敬意が述べられ、会場は温かな拍手に包まれました。



続く祝賀パーティは、ケアハウス豊泉家 桃山台6階のコミュニティホールにて開催いたしました。元国務大臣 中野 寛成様による乾杯のご挨拶で開会いたしました。

お食事は、豊食株式会社による「長寿メニュー」をご用意し、皆様にご堪能いただきました。会場では、笑福亭 笑利様による「紙切り」や、尾辻 優衣子様による二胡演奏など、華やかなエンターテインメントもあり、ご家族の皆様とともに愉しい時間をお過ごしいただきました。

締めくくりは、四代目 桂 春團治師匠による中締めと万歳三唱。全員での万歳三唱の声が響き渡り、盛大な拍手の中で閉会となりました。

今後も、100歳以上の方100名と「万歳三唱」を共にできる日を目指して、健康と長寿をお祝いできるよう豊泉家フェロー一同、さらなるサービス向上に努めてまいります。

なお、「名豊会」の詳細は、各ホーム受付に設置しているHCC TIMES号外にてご覧いただけます。ぜひお手に取ってお読みください。

記者：瀬戸根 将成

満員御礼！「介護×笑い 豊泉家寄席」を開催しました！

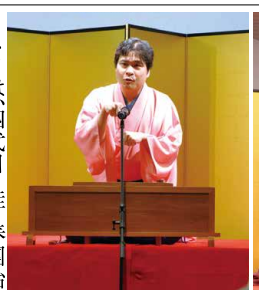
9月26日（土）CCRC豊泉家 芦屋山手1階パインホールにて「介護×笑い 豊泉家寄席」を開催いたしました。定員を上回るお申し込みをいただき、当日は満員御礼。会場は開演前から和やかな熱気に包まれました。



第1部の寄席には、豊泉家グループCEOでもある四代目 桂 春團治師匠をはじめ、笑福亭 喬介様、桂 咲之輔様、はやしや 都美礼様にご出演いただきました。

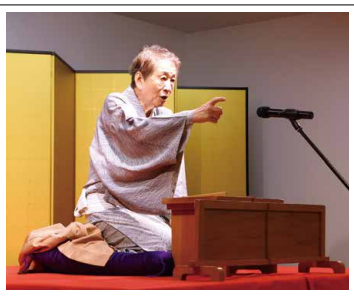
幕開けは、寄席囃子（よせばやし）の紹介から。お囃子に使われる三味線や鳴り物について、観客の皆様との絶妙な掛け合いを交えながらご紹介いただき、開始早々、会場には笑い声があふれました。続いて、落語の最中に三味線や鳴り物を入れる上方落語ならではの演出をクイズ形式でご紹介。「雪」の描写を見事に言い当てた方には、大きな拍手が送られました。最後に、落語を愉しむための「あいうえお」を教わり、会場は落語を聴く準備万端です。

最初の高座は、桂 咲之輔様による『平林（ひらばやし）』。「ひらばやしさん」の名前がどんどん奇妙な名前に変化していくリズミカルな語りに、皆様すっかり惹き込まれていました。次に登場した笑福亭 喬介様は『七度狐（しちどぎつね）』を披露。散々な目に遭いながらドタバタと進む物語は臨場感たっぷりで、たくさんの笑いが起こりました。





トリは、四代目 桂 春團治師匠。一段と大きな拍手で迎えられ、会場の期待感は最高潮に。軽妙な語り口の小噺ですぐに客席を惹き込むと、待ちに待った落語『鰻の幇間（うなぎのたいこ）』へ。たくさんの笑いに包まれ、第1部は大盛況のうちに幕を閉じました。



第2部は、CCRC豊泉家 芦屋山手のホーム見学会。4グループに分かれ、「ケアハウス豊泉家 芦屋山手」「ナーシングホーム豊泉家 芦屋山手」「デイサービスセンター豊泉家 芦屋山手」の各施設をご見学いただきました。一般的な介護施設とは一線を画す、ホテルライクで落ち着いた空間とともに、絶景のレストラン「桃源郷」やエイジレストラン「レーニングルームなど、同ホームならではのスポットもご覧いただきました。見学後には、ご希望の方に本イベント限定の特別ランチメニューを召し上がっていただき、同ホームの魅力を五感でご体感いただく機会となりました。



今回のテーマは「介護×笑い」。ご参加者からは「久しぶりに笑えました。とても楽しいひとときを本当にありがとうございました。」「とても楽しい時間を母と過ごせました。」など、多数の嬉しいお声を頂戴しました。介護ホームならではの安心いただける環境の中で、思い切り「笑い」を愉しんでいただき、少しでも皆様の暮らしの活力となっていましたら幸いです。

これからも皆様に愉しんでいただけるイベントを開催してまいります。ぜひお気軽にご参加ください。

記者：岩谷 篤

豊泉家グループ 一般財団法人 SF 豊泉家
〒550-0003 大阪府大阪市西区京町堀 1-11-1 博友ビル
TEL:06-6444-3029
https://www.housenka.com/
編集元：広報部 瀬戸根 将成
2026.11.1 発刊

敬老会特集

HCC北緑丘

9月14日(月)特別養護老人ホーム豊泉家 北緑丘にて、「敬老会」を開催いたしました。

敬老会では、北緑丘にご入居されている皆様を対象に、賀寿のお祝いをさせていただきました。

お祝いでは、北緑丘のフェローが作成したスライドショーを皆様にご覧いただき、賀寿を迎えられた皆様のお名前と、日頃のご様子を撮影した写真を紹介しました。

次々と映し出される写真を見て、「あ！私が映っている♪」「おめでとう～！」と、嬉しそうな笑顔を見せておられました。

また、ちんどん屋さんをお招きし、笑顔あふれるひとときをお過ごしいただきました！

演奏に合わせて一緒に歌を口ずさんだり、愉しいお話に耳を傾けたりと、「懐かしいね♪」「おもしろい！」と会場は終始大盛り上がりとなりました。

来年も皆様と一緒にお祝いできることを、愉しみにしております！

記者：北村 美果





HCC住之江

9月17日(木)豊泉家 住之江1階コミュニティホールにて「敬老会」を開催しました。

会の始めには、賀寿を迎えられた9名の皆様をお祝いし、表彰させていただきました。皆様、少し恥ずかしそうにされながらも、これまでの人生を振り返りながら、賀寿を迎えられた喜びを感じていらっしゃるご様子でした。また、一緒にお祝いしてくださったご入居者の皆様も、温かく見守られていました。



さらに皆様に愉しんでいただけるよう、今回はマジシャンのミスターリンク様をお招きしました。次々と繰り広げられるマジックに、「えっ、どっち？こっちじゃないの？」と、不思議そうに見入っておられました。会の途中には、ご入居者が「ちちんぷいぷい！」と魔法をかける場面もあり、会場は大いに盛り上がりました。

これからも皆様が健やかに、長生きされることを心より願っております。

来年もまた、皆様と一緒にお祝いできることを愉しみにしております。

記者：辻丸 春之



HCC芦屋山手

9月16日(水)CCRC豊泉家 芦屋山手にて、「敬老会」を開催いたしました。

今年、賀寿を迎えられたのは、ケアハウス12名、ナーシングホーム17名の皆様です。

お一人おひとりに表彰状をお渡しし、これまで歩んでこられた人生に敬意を表しておお祝いさせていただきました。表彰状を受け取られる際には、嬉しそうな笑顔や誇らしげな表情が見られ、会場は温かな雰囲気に包まれました。



表彰式の後は、ソプラノ歌手の御厨 円香様、ピアニストの勝部 藍里様をお迎えし、記念コンサートを開催しました。美しいソプラノの歌声とピアノの演奏に耳を傾け、会場いっぱいに広がる音楽を愉しみました。

また、賀寿のお祝いとして、一針一針に想いを込めて縫い上げた和柄の手作りキーホルダーをお贈りしました。

これからも皆様が健やかに、笑顔あふれる日々を過ごされることを心より願っております。

記者：石倉 萌



HCC桃山台

9月8日(火)9日(水)豊泉家 桃山台にて、「敬老会」を開催いたしました。

今年度も古希をはじめ、節目の年齢を迎えられた多くの皆様の長寿をお祝いいたしました。桃山台での最高齢は、数え年で103歳を迎えられた方でした！

ケアハウス豊泉家 桃山台では、エンターテインメントとして、サックス奏者の今井 佑香様をお招きし、記念コンサートを開催しました。クラシックから歌謡曲まで、多彩なジャンルの生演奏をご堪能いただきました。





アシステッドリビングホーム豊泉家 桃山台では、フェロー手作りのアルバムや花束をお渡しし、心温まるお祝いのひとときをお過ごしいただきました。



この度、長寿の節目を迎えられた皆様、誠におめでとうございます。

これからも皆様にいきいきと愉しい毎日をお過ごしいただけるよう、フェロー一同努めてまいります。

記者：摺石 奈々

HCC住之江 なにわ女子プロレス

9月30日(水)豊泉家 住之江の体育館にて、なにわ女子プロレスの皆様をお迎えし、プロレス観戦イベントを開催しました。

イベントは、フライング・ペンギン様による素敵な歌声からスタート。会場は温かな雰囲気に包まれ、皆様もうっとりと歌声に聴き入っておられました。

続いて行われたプロレスの試合では、迫力満点の技が次々と繰り広げられ、会場は大盛り上がり！試合中には、選手が観客の皆様に助けを求める場面もあり、多くの方が声援や拍手を送りながら、選手と一緒になって試合を愉しんでおられました。



さらに、実際にプロレスの技を体験できる時間もあり、皆様とても愉しそうな表情を見せてくださいました。

今回のイベントを通して、普段なかなか触れることのできない新しい体験を愉しんでいただくことができました。

これからも皆様に笑顔になっていただけるような、さまざまな企画をお届けしてまいります。

記者：辻丸 春之

HCCチャレンジド フラワーアレンジメント

9月のHCCチャレンジドクラブでは、季節を感じられる花を使ってフラワーアレンジメントを愉しみました。

今回使用したのは、華やかで優しい印象のトルコキキョウ、秋を代表する花のつであるリンドウ、かわいらしい丸い花姿が特徴の千日紅などです。

花の向きや高さ、色のバランスを考えながら、皆様思い思いに花を生けていきます。

同じ花材を使っていても、完成した作品にはそれぞれ個性があり、オレンジや紫、白い花にグリーンを合わせた秋らしい彩りの素敵な作品ができあがりました。

「きれいにできたね」「この花、かわいいね」と会話も弾み、作品を眺めながら笑顔があふれていました。





完成した作品は、それぞれのお部屋などに飾っていただいています。「この前のお花、まだきれいに咲いているよ」といった声も聞かれ、花のお世話を通して、身近に花がある暮らしを愉しんでいただいているようです。

今後も、季節の花に触れながら、心華やぐ愉しい時間を重ねてまいりたいと思います。

記者：小川 仁美

HCCキッズクラブ お散歩を楽しむ子どもたち♪

ほうせんかキッズクラブ桃山台では、気候の良い時期には、毎朝お散歩に出かけています。子どもたちはお散歩が大好きで、外に出ると笑顔いっぱいになります。

雨や曇りの日が続いたなか、久しぶりに晴れたある日、お散歩に出かけました。待ちに待ったお散歩に、子どもたちは大喜び！

いつも以上に元気いっぱいに歩きながら、道端の草花や虫、鳥の声など、さまざまなものに興味を示していました。



「これは何だろう？」「あっ、見つけた！」と、目に入るもの一つひとつに足を止め、楽しそうに観察する姿が見られました。



これからも季節の変化を感じながら、子どもたちの「見つけた！」を大切に、お散歩を楽しんでいきたいと思います。

記者：小谷 美和子



2026年9月度豊泉家大賞・フェロー大賞月間賞

豊泉家大賞



医療法人成和会
ほうせんか病院
スカイローズ

病棟に入院されていた患者さまのご家族がご逝去後に来院され、生前の医療・看護への深い感謝とともに、ご寄付を賜りました。

「最期をほうせんか病院で過ごすことができてよかった」とのお言葉は、全職種が一体となって取り組んできたチーム医療の成果です。

日々の丁寧な関わりを通じて患者さまとご家族の大切な時間を支え、病院として誇るべき事例となったことが高く評価されました。

豊泉家フェロー大賞

AC(介護)ドメイン



社会福祉法人福祥福祉会
北摂コミュニティ ビーチライフ
ザーザーカイン フェロー(右)
ミミマウン フェロー(左)

慣れない日本での生活や業務に前向きに取り組み、分からないことにも真摯に向き合いながら、笑顔で丁寧な支援を実践しました。

日本語検定合格を目標に、仕事と両立しながら学習を続け、コミュニケーション力も向上。ご入居者一人ひとりに寄り添った優しい声かけで、信頼関係を築いています。

明るく素直な人柄と成長への努力が、周囲のフェローにも良い刺激を与えたことが高く評価されました。



社会福祉法人福祥福祉会
北摂コミュニティ
ビーチフォレスト
前田 典子フェロー

前田フェローは、4年間にわたり看護師として任された業務に責任を持ち、確実にやり遂げてきました。ルールや手順を遵守し、ご入居者の安心・安全と職場の信頼を支えています。

また、相手の立場を考えたコミュニケーションを大切にし、周囲と協調して良好な関係を築いてきました。

日々の着実な積み重ねと、チームの和を大切にしながら安定した運営を支えてきた貢献が高く評価されました。



社会福祉法人福祥福祉会
大阪コミュニティ SCC
髙子 敦由フェロー

高子フェローは、ご利用者の筋力低下や転倒を防ぐため、椅サッカークラブで一人ひとりの特徴を把握し、ご家族と連携してトレーニングを支援しました。

参加人数を毎月伸ばし、8月末には目標の延べ200名を達成。親身な助言はご利用者やご家族からも好評で、デイサービスへの来所を楽しみにされる方も増えました。

ご利用者を第一に考えた支援と、チームへの貢献が高く評価されました。



社会福祉法人福祥福祉会
阪神コミュニティ ACC
永松 沙羅フェロー

永松フェローは、入職2年目のフェローとして日々前向きに業務に取り組み、周囲の状況を把握して先回りした行動を実践しています。

仲間への気遣いを大切にし、ご利用者にも明るい笑顔で接しながら、一人ひとりとの丁寧な関わりを実践しています。

また、自らの役割を考え、新たな業務の習得にも意欲的に挑戦する姿勢と、チームに欠かせない存在としての貢献が高く評価されました。



社会福祉法人福祥福祉会
チャレンジドコミュニティ
レインボープロッサム
野口 直美フェロー

野口フェローは、ご利用者の健康状態を日々気にかけ、小さな変化にも目を配り、安心して過ごせるよう支援してきました。

看護職の専門性を活かし、グローバルフェローにも分かりやすく丁寧に伝え、安心して働ける環境づくりに尽力しています。また、多職種や関係機関との連携を大切にし、周囲への支援にも努めてきました。

ご利用者への細やかな配慮と、仲間を支える姿勢が高く評価されました。



社会福祉法人福祥福祉会
チャレンジドコミュニティ
レインボーウィング
野口 胡桃チームスリー
(T3)

野口T3は、新たにT3を担う中、経験の浅いフェローがいるチームにおいて自ら率先して行動し、現場の課題解決に努めてきました。

日々の実践で周囲の手本となる姿勢に加え、チャレンジド研究会での活動やR&D(研究・開発)発表会での成果発表にも積極的に取り組み、活躍しています。

チーム内の課題への対応に加え、研究会での活動や成果発表を通じて、幅広く貢献してきたことが高く評価されました。



社会福祉法人福祥福祉会
大阪コミュニティ BLUEWAVE
神谷 翔バイスキャプテン
(Vcp)

神谷Vcpは、体制変更に伴い責任と役割が大きくなる中、運営業務を調整しご入居者の入院抑制に貢献しました。

入院者数を前年度10月～3月の12名から、今年度4月～9月には7名に抑え、長期入院1名を除く入院日数も抑制しました。

また、8月のR&D(研究・開発)発表会やグループ大会で予選を通過し、12月のグループ大会出場を決めるなど、運営面での尽力と具体的な成果が高く評価されました。

MC(医療)ドメイン



医療法人成和会
茨木北支援部
石原 慎二フェロー

石原フェローは、6月～8月の豪雨で北大阪ほうせんか病院が浸水した際、迅速な判断と初動対応により、予定どおりの診療開始と患者さまやフェローへの影響軽減に貢献しました。

送迎業務にとどまらず、院内でも自発的に行動し、周囲を支える謙虚で献身的な姿勢は、フェローから厚い信頼を得ています。

豪雨時の的確な対応と、日頃から役割を越えて病院運営を支える姿勢が高く評価されました。

「ASHIYA HANOHANO FESTIVAL」に参加いたしました

9月27日(日)ミラタップパーク芦屋(芦屋市総合公園)で開催された「ASHIYA HANOHANO FESTIVAL」に参加いたしました。58年ぶりに復活した本イベントは、かつて奥池で開催されていた「ハワイまつり」を受け継ぐもので、華やかなフラダンスショーをはじめ、フード販売やワークショップなど、さまざまな催しが行われました。



あいにくの雨にもかかわらず、会場は多くの来場者で賑わいました。豊泉家はフードトラックを出店し、通常メニューに加えて、イベント限定のハワイアンドリンク・スパムおにぎり・パンケーキを販売。フェローもアロハシャツやハイビスカスの花飾りを身につけ、ハワイらしい装いで参加いたしました。



当日は、ご利用者のご家族の方や、前日にCCRC豊泉家 芦屋山手で開催した「豊泉家寄席」に来場された方が立ち寄ってくださるなど、思いがけない交流もありました。お足元の悪い中、多くの方にお越しいただき、記念すべき第一回に参加できたことを嬉しく思うとともに、地域の皆様とのつながりを改めて感じる一日となりました。

記者：津野 友里恵

新北島地域総合相談窓口(ブランチ)「ブラっと講座」第3弾を開催

10月5日(月)豊泉家 住之江1階コミュニティホールにて「ブラっと講座」第3弾を開催いたしました。

この講座は、新北島地域総合相談窓口(ブランチ)の相談員である辻 星美フェローが、地域の皆様のお困りごとやお悩みの解決につながるテーマを企画し、開催しているものです。時には外部講師をお招きし、地域の皆様やご入居者ご利用者の皆様に向けて、暮らしに役立つ情報をお届けしています。

今回のテーマは「知っておきたい！高齢者施設の選び方」。講師を務めた和田 知浩フェローが、高齢者施設を選ぶ際のポイントや、施設見学時に確認しておきたいことなどを説明しました。



講義後には、参加者から「どのような相談が多いのか？」「ケアハウス豊泉家 住之江では、お元気な方と介護が必要な方で過ごし方に違いはあるのか？」など、さまざまな質問が寄せられました。また、施設見学のご希望もいただき、ケアハウス豊泉家 住之江でのご入居者の皆様の普段の暮らしをご覧いただく機会にもなりました。

今後も「ブラっと講座」を通じて、地域の皆様が抱えるこれからの暮らしへの不安や疑問の解消に努めてまいります。

記者：東谷 祐子

第6回 成和塾が開催されました

第6回成和塾では、上期の取り組みをPDCAサイクルに沿って振り返り、これまでの成長や課題を言語化しました。さらに、塾生同士で「仲間のここが成長した」「もっとこうすると良い」と相互にフィードバックを行い、自分では気づかなかった成長や改善点を知る機会となりました。

今回の成和塾を通して、実践したことを振り返るだけでなく、「何をしたのか」「何が変わったのか」「何が課題として残っているのか」を言葉にして整理することが、次の行動につながることを実感しました。

上期の学びと仲間からのフィードバックを活かし、下期もそれぞれの目標達成に向けて実践を重ねてまいります。

また、田中塾長からは、2055年の世界について、人口減少、グローバル化、インフレ経済、AIロボティクスの導入など、社会が大きく変化していく中で、「他者に先んじて、他者にはできないことを実現する」ことが新たな機会につながるという考え方が示されました。

講話を通して、変化の時代だからこそ現状維持ではなく、自ら考え、挑戦し、新たな選択肢を創り出すことの大切さを改めて考える機会となりました。



記者：下中 慎平
織田 海鈴

再生医療勉強会を開催



9月27日(日)豊泉家 桃山台にて、ご入居者やご家族を対象に「再生医療勉強会」を実施いたしました。今回は、千里ベイクリニックの松永美佳子院長を講師にお迎えし、再生医療とは何か、また今後の可能性についてお話しいただきました。皆様、初めて聞く言葉や内容にも熱心に耳を傾けられ、関心の高さがうかがえました。

今回の勉強会をひとつのきっかけとして、今後は地域の皆様にもホームへ足を運んでいただける機会をつくり、地域とのつながりをより一層深めてまいります。

記者：福井 晴香

2026/6/2 発売
豊泉家の認知症ケア書籍 第3弾
認知症は、ケアから支援へ
関わり方と環境を整えれば、
その人が本来持つ力や可能性が
再び引き出され、笑顔や役割、
人とのつながりが暮らしの中に
戻ってくる
No.1 2026/6/25-26 新着ランキング
『認知症は支援でここまで変わる』
豊泉家グループ
社会福祉法人 福祥福祉会 前理事長
学校法人 園田学園 副理事長
園田学園大学 特命教授
阿久根 賢一 著
全国書店 Amazonで絶賛発売中！

コミュニティサロン 上町台を開催いたしました



9月12日(土)豊泉家 上町台にて「コミュニティサロン」を開催いたしました。

豊泉家では、地域の皆様が気軽に立ち寄り、暮らしや介護について語り合える「ひらかれた場」として、コミュニティサロンを開催しています。

はじめに、社会福祉法人天森誠和会の阿久根 賢一理事長による「にんちしょう講座」を実施しました。今回は敷地内にある天龍院の本堂を会場とし、普段とは異なる落ち着いた雰囲気の中、参加者の皆様は熱心に耳を傾けておられました。

続いて、和田 淳施設長が「養護老人ホームとは?」をテーマに講座を実施。入所対象となる方や費用などについて分かりやすく説明しました。また、希望者を対象に施設見学も行い、実際の施設の様子をご覧いただきました。

最後には、豊泉家のパン屋さん「パン de Rainbow」によるパンの販売も行われました。豊泉家チャレンジドセンター豊中からもパートナーの皆様が販売に参加し、地域の皆様やご入所者の皆様にパンをお買い求めいただきました。

今後もコミュニティサロンを通じて、認知症や介護をより身近に感じていただくとともに、地域の皆様が気軽に集い、語り合える場づくりを続けてまいります。

記者：東谷 祐子

『コミュニティサロン住之江』開催のお知らせ

話して、聞いて、分かち合う
みんなの声が安心に



11月14日(土)10:30-12:00

豊泉家 住之江にて
『にんちしょう講座』開催予定
ご入居者参加型の喫茶コーナーなど
さまざまな企画をご用意しています!

10月開設 骨折予防・骨粗しょう症外来

8月から順次お知らせしてきた5つの専門外来の開設ニュース。今回は締めくくりとして、10月に開設した「骨折予防・骨粗しょう症外来」についてご紹介します。

本外来は、整形外科外来の機能を強化し、二次性骨折の予防を見据えた骨粗しょう症診療を行うものです。

骨粗しょう症は、骨の状態を適切に評価し、継続的に治療していくことが重要です。当院では、骨折歴や骨密度などから骨折リスクを評価し、一人ひとりの状態に合わせた治療と継続的なフォローを行う体制を整えました。

外来では、まず単純X線検査、CT検査、MRI検査で骨や関節の状態を確認し、骨密度検査(DXA法)で骨の強さを評価します。

あわせて血液・尿検査や骨代謝マーカーの測定で骨代謝の状態を調べ、続発性骨粗しょう症が疑われる場合には、精密検査も実施します。これらの結果をもとに骨折リスクを評価し、診断から薬物療法の導入、継続的な支援へとつなげます。治療開始後も骨密度検査などで効果を確認し、退院後のフォローアップまで一貫して行います。

こうした検査や評価は、すべて院内の設備を活用して行うことができ、骨折・手術後の早期治療から退院後までを見据えた支援が可能です。

患者背景や基礎疾患、服薬状況を踏まえた個別の提案を行い、地域の医療機関とも連携しながら、生活の再建を支えてまいります。

今後も、それぞれの専門性を生かして診療の幅を広げ、地域の皆様の健康を支える、より身近な病院を目指してまいります。

記者：吉岡 鈴子



「豊中まつり2026」に参加いたしました



10月3日(土)・4日(日)に今年も「豊中まつり」へ豊泉家のフードトラックを出店いたしました。2日間の開催期間中、オリジナルうちわの配布とともに、ぽてピュレ・生チュロス・カレーライス・ビールなどを販売いたしました。

初日はお天気にも恵まれ、フェロー一同で元気に呼び込みを行いました。お昼は日差しが強く、暑さも感じられましたが、日が沈み始めると涼しくなり、たくさんの方にお立ち寄りいただきました。あいにくの雨となった2日目も、足を運んでくださるお客様がいらっしゃいました。



会場にはご家族連れの方も多く、今回の出店は、豊泉家を知っていただく良い機会となりました。また、地域の皆様と直接交流することもでき、有意義な時間となりました。今後も地域の方々と触れ合えるイベントへ積極的に参加してまいります。

記者：濱津 未夢

フェローへのお知らせ
豊泉家のホーム ご紹介キャンペーン

ご家族やご友人を、ホームの見学にご招待ください!

対象ホーム
ナーシングホーム豊泉家 芦屋山手
ケアハウス豊泉家 芦屋山手
アシステッドリビングホーム豊泉家 桃山台
ケアハウス豊泉家 住之江

必ずもらえる!/ご見学でプレゼント



フェロー限定特典もあり!

ご見学期限 2027年1月31日(日)
詳しくはこちら⇒

第14回棒サッカー大阪大会のお知らせ

100歳を超えても、要支援・要介護状態になっても
ハンディキャップを有しても続けられる生涯ユニバーサルスポーツ

挑戦が日本を、世界を元気にする



日時/2026年11月20日(金)
場所/豊泉家千里体育館

主催/一般社団法人 日本棒サッカー協会
主管/NPO法人 SG博友会

おしえて ゆたかくん!

豊泉家で特別な想いを持って使用している言葉【豊泉家ワード】をゆたかくんが解説いたします!

●フェロー⇒豊泉家では、職員・社員・従業員と言わず、同志という想いを込め、フェローと呼んでいます。
●個客⇒豊泉家のサービスをご利用の皆様。豊泉家ではパーソナリティを重んじ、お客様のことを「個客」と呼称しています。
●チャレンジド⇒神様より挑戦する使命を与えられた人たちという意味です。豊泉家ではハンディキャップをお持ちの方を「チャレンジド」と呼称しています。
●ステークホルダー⇒一般的には利害関係者の総称ですが、豊泉家では家縁でつながった外部企業および個人を意味しています。